

みらいトピックス



地域の活動が、SDGsにつながっています。

スチューベン出荷最盛



石川青果センターでは11月下旬、令和4年産ぶどう「スチューベン」の出荷が最盛を迎えました。贈答用の出荷が盛んとなり、1日あたり約600箱（1箱2kg）を箱詰めし、年末までに全国へ約1万1000箱の出荷を計画しています。

ぶどう生産部会の斎藤晴彦副部会長は「天候不順であったが、営農指導員の適切な指導と、生産者の努力もあり品質の良いものができ、販売価格も過去最高となった。今後も順調に作業を進め、消費者の皆さんにおいしいぶどうを届けたい」と話しました。また、食べ方について「実を噛んでしまうと少し酸味を感じるので、噛まずに飲み込み、皮に残った果汁も吸う。すると口内に余韻が残り、甘味を十分に楽しむことができる」と話しました。



箱詰めをする作業員